

# 町田いぬねこ守り手ネットワーク

このようことで  
困っていませんか?

## 深刻な“飼い主のいない犬猫問題”に取り組む方へ

例えば…地域のトラブルやペットの問題  
ex. 野良猫が増えている/糞、尿がひどい/鳴き声がうるさい  
無責任な餌やりをする人がいる/交通事故に遭っている  
経済的理由などでペットを飼いきれなくなった  
両親が飼っていたが、引き取る事ができない…

私たちは2本の柱でボランティアさんを応援します

1. お金による支援(寄付活動)
2. マンパワーによる支援(ボランティア人材育成活動)

### 私たちのおもな取り組み

- 1.保護活動ボランティアを支えたい(支援活動)
- 2.かわいそうな犬猫を救いたい(ボランティア人材育成)
- 3.正しい知識を知ってほしい(普及啓発と教育)
- 4.人とペットが幸せに暮らしてほしい(情報発信)
- 5.不幸な命を増やさない(地域社会との協力,TNR活動)
- 6.人と人でつながりたい(ネットワーク作り)

今“飼い主のいない犬猫問題”“殺処分0継続”を  
支えているのは「民間のボランティア」です

### Vision 実現したい社会

「人と動物が安全に幸せに暮らせる社会」  
「助けられない、という選択肢のない社会」

### Mission 私たちの使命

ゼロ  
「飼い主のいない犬猫 0」

“犬猫の保護”や“野良猫問題解決”には

時間もかかるし、お金もかかります

そのうえ…町田市内のボランティアはそう多くないため  
1人で平均20匹以上を抱えているのが現状です



犬が好き! 猫が好き! かわいそうな子を助けたい!!  
守り手と一緒に始めませんか?

## 「好き」でつながる保護活動



**Value** 私たちが大切にしていること  
「人にも犬にも猫にも寄り添う」

ボラさんからこんな声が聞けたらいいな…

「保護にかかる自腹のお金が減ってホッとした!」  
「お手伝いしてくれるおかげで自分時間ができた!」  
「(犬猫)を運んでくれるから腰痛が改善した!」  
「命を救うことを諦めないで良かった!」  
「たくさんの犬猫たちを救えた!!」  
「保護活動をする理由がなくなった!」

こんなお手伝いをしてほしい…

- ・SNS投稿や拡散を手伝ってほしい…
- ・チラシ作りを手伝ってほしい…
- ・イベントと一緒に企画、盛り上げてほしい…
- ・命の授業で子どもたちに読み聞かせをしてほしい…

## 町田いぬねこ守り手ネットワークの年間計画

### 1年目(2025年) 活動内容と目標

### 2~5年目(2026~2030年) 活動内容と目標

### 6~10年目(2031~2035年) 活動内容と目標

#### 支援事業

- ボランティアさんの持続的保護活動を応援!!  
=より多くの犬猫を助けられる!!  
=ボランティアさんの多頭飼育崩壊を予防!!
- 保護活動の知識を伝える!!  
=エキスパートになって力になれる!!

#### 普及啓発事業

- 適正飼育や終生飼育の大切さを広める!!  
=動物に愛情を持てる人が増える!!  
=飼育放棄されるペットが減る!!
- 子供達の「情操教育の発展」に貢献する!!  
=将来、「命」に責任を持てる大人が増える!!

#### まちづくり事業

- 地域にコミュニティを創り、助け合う!!  
=野良猫の増加防止、動物への虐待防止など  
住みやすく、安全な街を創ることができる!!
- 町田おこしに貢献する!!  
=町田に人を呼び活性化させることができる!!

#### 活動内容と目標

#### 活動内容と目標

#### 活動内容と目標

- 基盤作り(HP,SNS運用,支援先決定,監査…)  
→更新頻度2~3日に1回、フォロワー作り
- チャリティーイベントを開催  
→2件のイベント企画、参加者80人達成  
→6割(48人)からの寄付5万円達成
- 寄付付きセミナー、勉強会を実施  
→年6回開催、参加者30人、寄付3万円達成
- 支援を届ける  
→15人のボランティアさんに支援を届ける

- (2026年,2027年,2028年)
  - チャリティーイベントを定期的に開催  
→参加300人×3年=9,000人達成  
→8割(7,000人)からの寄付720万達成
  - 寄付付きセミナー、勉強会を毎月実施  
→参加者の2割が預かりボランティアへ
  - チャリティープロジェクトに挑戦  
→6件企画(クラウドファンディング)達成

- (2029年,2030年)
  - 大規模なチャリティーイベントを開催  
2029年→実行委員会立ち上げ  
2030年10月4日“世界動物の日”に開催  
→参加者5,000人、寄付500万達成
  - クラウドファンディングチーム結成  
→シェルター建設に向けて

- (2031年,2032年,2033年)
  - 大規模イベントを毎年開催  
→参加5,000人×3年=15,000人達成  
→寄付1,000万達成
  - 犬猫を救う受け皿の仕組み作り  
→1匹に対し30~50人で支える
  - シェルター建設に取り掛かる

- (2034年,2035年)
  - 支援の届け先が全国へと拡大  
→町田市内のボランティアにはしっかりと支援が行き渡る  
→日本中の犬猫の命が救える
  - 登録ボランティアメンバー拡大  
→2,000人達成

- HP内にて啓発ブログを開設、SNSで拡散  
→月に4記事、フォロワー年間360人達成
- 町田市内での「出張お茶会」を開催  
→月に1回、10地区で開催、参加者30人達成
- 相談窓口の設置(HP内、お茶会などにて)  
→早い段階で相談を受け、一緒に考える

- “終活”をテーマの組織と協働  
→「うちのこの犬生・猫生計画」作成
- 飼育費補償ペット保険の案内開始  
→3年間で保険加入者108人目標
- 幼稚園、小学校、中学校で命の授業開催  
→日本の未来を託せる子供が輩出される

- 助け合い制度の基盤作りと実施  
→第二の犬生、猫生がスムーズに送れる
- お茶会参加者の中からボランティアへ  
→約半数の方がメンバー登録
- 企業と連携協働で命の授業を拡大  
→企業のCSRに貢献

- 助け合い制度の拡大  
→飼育者の2人に1人が登録
- 海外の保護シェルターなど見学  
→日本も動物愛護先進国の仲間入り
- 安全運転啓発  
→動物の“ロードキル”が激減

- 守り手ネットワークの構築と拡大  
→基盤作り、各地域に10人ずつの仲間作り
- 本当の意味での「地域猫活動」を広める  
→各地域で猫の登録表を作成+TNR推進  
※TNRとは野良猫の避妊去勢手術を行い元いた場所に戻し、野良猫の増加を抑える取り組みのこと
- “ペット防災”に力を入れる  
→市役所や講師と協力、講話やセミナー実施

- 高齢者の孤立化予防 + 預かりの計画  
→見守り隊の結成
- 地域猫パトロール隊の結成  
→すべての地域猫が登録、管理される
- 作家さんとマルシェやイベントを開催  
→年に2~3回開催、つながり拡大

- 「守り手モデル」を全国展開へ  
→全国フォーラムなどの実施
- ペットロス事業の開始  
→ペットロスの社会的認知が向上
- 2030年10月4日大規模イベント実施  
→「町田」が盛り上がる!

- 守り手ネットワークが地域に根付く  
→新しい「町内会」の形が誕生  
→地域社会発展に貢献
- 高齢者見守り隊が活躍  
→第二の犬猫生に貢献、シニアも元気に
- 犬猫シェルターで空き家活用事業  
→空き家を再生、犬猫がより多く救われる